

## 5 救 急

平成28年度  
全国統一防火標語

「消しましょう その火その時 その場所で」

## 5 救 急

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| (1) 救急隊の活動            | (7) 現場到着所要時間別出場件数    |
| (2) 市町別救急出場状況の推移      | (8) 収容所要時間別搬送人員      |
| (3) 平成30年救急出場状況（前年比較） | (9) 収容所要時間           |
| (4) 市町別救急出場件数         | (10) 住民に対する応急手当の普及   |
| (5) 年齢区分別搬送人員         | (11) 防災ヘリ・ドクターヘリ運用状況 |
| (6) 傷病程度別搬送人員         | (12) 救急資器材保有状況       |



消防本部ランデブーポイントでの傷病者引継ぎのため飛来した「新ひばり」

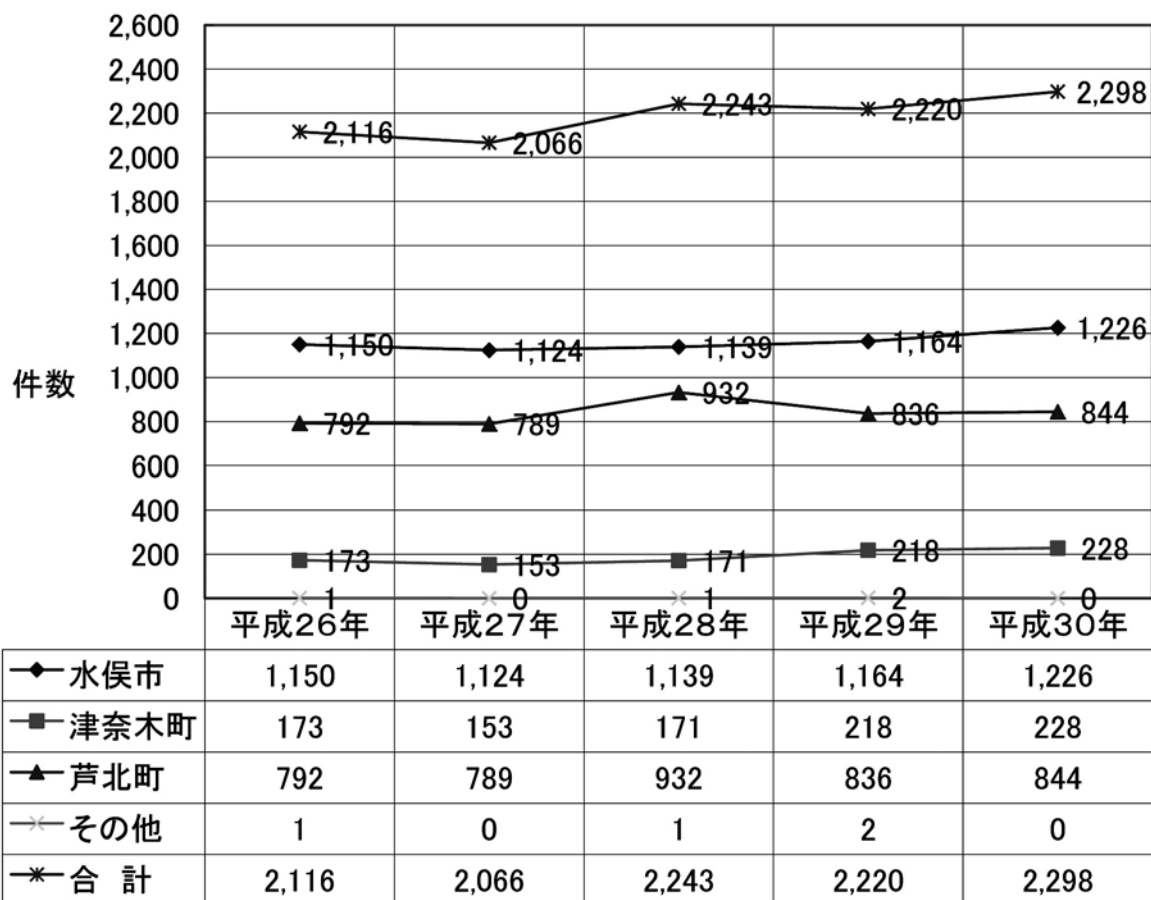
## (1) 救急隊の活動

救急隊員は、人命を救護するという重要な任務に従事することから、最低250時間の救急業務に関する講習を修了した者をもって充てるようにされている。

当消防本部では、高度化する救急需要に応えるため、4隊18人の隊員が活動しており、隊員全員が有資格者である。各隊とも平成3年施行の救急救命士法に規定する救急救命士、救急標準課程修了者の3人で編成され、各消防署に配備された3台の高規格救急車（水俣2台、芦北1台）に搭乗し活動を行っている。

平成30年中の救急出場件数は、2,298件で前年より78件増加、搬送件数は2,198件で64件の増加、搬送人員は2,209人で67人の増加となった。

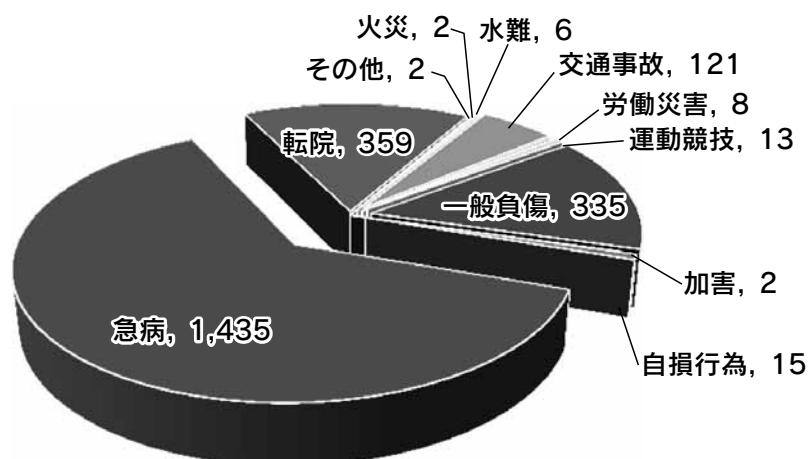
## (2) 市町別救急出場状況の推移



### (3) 平成30年救急出場状況（前年比較）

区 分	平成30年		平成29年		前年との比較 A - B	平成30年 1日平均		
	件数等A	構成比%	件数等A	構成比%				
救急出場件数	2,298	100	2,220	100	78	6.3件		
事 故 種 別	火 災	2	0.1	3	0.1	△1		
	自然災害							
	水 難	6	0.3	1	0.1	5		
	交通事故	121	5.2	110	4.9	11		
	労働災害	8	0.3	15	0.7	△7		
	運動競技	13	0.6	20	0.9	△7		
	一般負傷	335	14.6	341	15.4	△6		
	加 害	2	0.1	3	0.1	△1		
	自損行為	15	0.7	12	0.5	3		
	急 病	1,435	62.4	1,378	62.1	57		
	その 他	転 院	359	15.6	337	15.2	22	
		その他	2	0.1			2	
	搬 送 件 数	2,198		2,134		64	6.0件	
搬 送 人 員	男	1,129	51.1	1,065	49.7	64		
	女	1,080	48.9	1,077	50.3	3		
	計	2,209		2,142		37	6.0人	
不 搬 送 件 数	100		86		14			

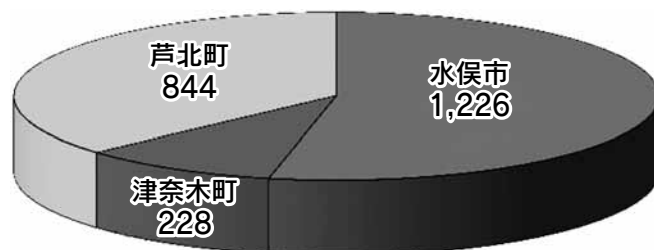
事故種別救急出場状況



#### (4) 市町別救急出場件数

区 分		市町別				
		水 俣 市	津 奈 木 町	芦 北 町	合 計	
救急出場件数		1,226	228	844	2,298	
事 故 種 別	火 災	2			2	
	自然災害					
	水 難	3	2	1	6	
	交通事故	73	15	33	121	
	労働災害	5		3	8	
	運動競技	9	1	3	13	
	一般負傷	177	32	126	335	
	加 害	2			2	
	自損行為	9	3	3	15	
	急 病	756	168	511	1,435	
	そ の 他	転 院	189	7	163	359
		その他	1		1	2
構 成 比 %		53.4	9.9	36.7	100	

市町別救急出場件数



#### (5) 年齢区分別搬送人員

事故種別 年齢区分	事故種別												計	構成比 %
	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他			
新生児											1	1	0.1	
乳幼児				3			4			39	3	49	2.2	
少年				5		8	3		1	26	5	48	2.2	
成人			1	69	5	4	49	2	7	325	71	533	24.1	
高齢者	2		2	51	3		269		1	972	278	1,578	71.4	
合計	2		3	128	8	12	325	2	9	1,362	358	2,209	100	

(6) 傷病程度別搬送人員

区分 事故種別	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	計
急 病	36	167	507	652		1,362
交通事故	1	15	14	98		128
一般負傷	2	102	72	149		325
そ の 他	9	105	208	53	19	394
計	48	389	801	952	19	2,209
構成比%	2.2	17.6	36.3	43	0.9	100

(7) 現場到着所要時間別出場件数

区 分	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計	現場着最短 所要時間 (分)	現場着最長 所要時間 (分)	平 均 所要時間 (分)
急 病	10	49	713	531	132	1,435	1	45	10.8
交通事故		4	76	33	8	121	3	44	9.9
一般負傷	1	16	152	131	35	335	1	38	11.2
そ の 他	6	44	267	79	11	407	0	31	7.7
計	17	113	1,208	774	186	2,298			

(8) 収容所要時間別搬送人員

区 分	10分未満		10分以上 20分未満		20分以上 30分未満		30分以上 60分未満		60分以上 120分未満		120分以上		計	
	うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外	
急 病	1		94		414		708	62	142	75	3	3	1,362	140
交通事故			9		51		55	2	13	5			128	7
一般負傷			25		91		161	16	47	28	1	1	325	45
そ の 他			53	1	70	7	199	114	71	68	1	1	394	191
計	1		181	1	626	7	1,123	194	273	176	5	5	2,209	383

(9) 収容所要時間

区 分	収容最短所要時間 (分)	収容最長所要時間 (分)	収容平均所要時間 (分)
急 病	9	201	38.2
交通事故	16	94	35.5
一般負傷	13	151	40.2
そ の 他	13	125	42.6

## (10) 住民に対する応急手当の普及

救急要請から救急隊が現場に到着するまでに要する時間は、平成30年中の平均では約10分である。救急隊が現場に到着するまでの間に、救急現場近くの一般住民による応急手当が適切に実施されれば、大きな救命効果が得られる。

当消防本部においては、平成5年3月に自治省消防庁が制定した「応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱」に基づき、心肺蘇生法及び「平成16年7月1日付け消防庁救急救助課長通知」により一般住民によるAED（自動体外式除細動器）使用が認められたため、講習会の中に取り込み、実技指導を中心とした講習会を実施し、住民に対する応急手当の普及啓発に努めている。

平成30年中に実施した講習会については表のとおりである。

平成30年救急救命講習実施状況

種 別	講習回数	受 講 人 員		
		男 性	女 性	計
上級救命講習会	0			0
普通救命講習会	18	227	77	304
一般救命講習会	58	670	955	1,625
普及員養成講習会	0			0
計	76	897	1,032	1,929

※普通救命講習会はAED講習を含む

## (11) 防災ヘリ・ドクターヘリ運用状況

平成23年からドクターヘリが運航開始し、基本的にドクターヘリは現場救急、防災ヘリは転院搬送を担っているが、相互補完として2機体制で救急活動が行われている。

平成30年の当消防本部での利用実績は、防災ヘリが23件、ドクターヘリが11件の合計34件の要請を行っている。

内訳として、防災ヘリは転院搬送21件、訓練参加2件の合計23件、ドクターヘリは現場救急5件、転院搬送6件の合計11件である。

ドクターヘリについては、現場救急として交通事故等の119入電時に負傷状況を聴取した時点で、すぐに要請するときもあることから、救急隊が現場に到着してからドクターヘリで搬送する事案ではないと判断し、ドクターヘリを途中でキャンセルした事例が平成30年は1例あった。

また防災ヘリについても要請を行ったものの、天候不良等によりキャンセルした事例が1件あり、防災ヘリとドクターヘリのキャンセル事案は合計2件となっている。

ヘリの利用は、重症患者で搬送を急ぐ場合や、長距離の搬送で患者に負担が掛からないための有効な搬送手段として活用している状況である。

平成30年中は、ドクターヘリ（9事案）、防災ヘリ（19事案）が消防本部ヘリポートを離発着場として活用している。

## (12) 救急資器材保有状況

品名	常置場所		品名	常置場所	
	水俣	芦北		水俣	芦北
患者監視装置	3	1	蘇生訓練用成人用人形	9	6
人工呼吸器	3	1	蘇生訓練用小児用人形	2	1
吸引器(足踏式)		1	蘇生訓練用乳児用人形	6	2
吸引器(車載)			酸素ボンベ(10ℓ)	8	6
吸引器(携帯)	4	2	酸素ボンベ(3ℓ)	6	
手動引き金式人工蘇生器	1	1	酸素ボンベ(2ℓ)	7	6
自動式心臓マッサージ器		1	気道確保トレーナー	1	1
全身ギプスセット	3	4	高度救急シミュレーター	1	1
マジックギプス	3	2	レサシテーター	1	
ショックパンプ	1		AEDトレーニングユニット	10	9
喉頭鏡セット	4	3	紫外線消毒器		1
マギール鉗子	6	3	殺菌ロツカー	1	1
流量計付加湿酸素吸入装置	3	1	救急用携帯電話	2	1
血圧計(車載・携帯用)	9	4	カーディオポンプ		1
半自動式除細動器	3	1	自動手指消毒器		
パルスオキシメーター(携帯用)	3	3	高圧蒸気滅菌器	1	1
輸液ポンプ			ガス滅菌器	1	1
携帯用人工呼吸器	6	3	噴霧式消毒器		
携帯酸素ホルダー	3	2	点滴用スタンド	3	1
スクープストレッチャー	5	2	A E D	1	2
ターポリン担架	5	3	アクター911(大人)	2	2
折りたたみ式ストレッチャー	1	2	アクター911(小児)	1	
C P R ボード	3	2	エアストレッチャー	3	1
バックボード(一式)	7	4	リトルアン	2	2
リングカッター	3	3			
防護マスク(600DN)	6	3			